

6-7. 【参考】後発医薬品の数量割合（国保、県のみ後期）（NDBデータ_千葉県同規模自治体）

* 入院は除く

<国保>

市町村区	同規模自治体	後発医薬品 数量割合 (%)①	同規模自治体 後発医薬品数 量割合(%) ②	差 (①-②)	市町村区	同規模自治体	後発医薬品 数量割合 (%) ①	同規模自治体 後発医薬品数 量割合(%)②	差 (①-②)
千葉市	埼玉県さいたま市	76.70%	73.70%	3.00%	八街市	埼玉県本庄市	77.60%	74.60%	3.00%
銚子市	福岡県柳川市	70.00%	73.50%	-3.50%	印西市	長崎県大村市	75.10%	78.90%	-3.80%
市川市	東京都府中市	75.60%	74.10%	1.50%	白井市	茨城県守谷市	78.10%	80.90%	-2.80%
船橋市	埼玉県川口市	76.40%	78.90%	-2.50%	富里市	愛知県愛西市	77.00%	78.10%	-1.10%
館山市	静岡県伊豆の国市	79.00%	67.50%	11.50%	南房総市	山形県新庄市	77.50%	80.40%	-2.90%
木更津市	茨城県土浦市	70.10%	76.10%	-6.00%	匝瑳市	福岡県みやま市	71.90%	74.30%	-2.40%
松戸市	東京都府中市	78.20%	74.10%	4.10%	香取市	徳島県阿南市	74.80%	61.40%	13.40%
野田市	埼玉県久喜市	78.00%	73.10%	4.90%	山武市	長野県須坂市	75.40%	80.40%	-5.00%
茂原市	富山県射水市	74.20%	77.90%	-3.70%	いすみ市	鹿児島県指宿市	77.10%	83.90%	-6.80%
成田市	佐賀県唐津市	75.60%	76.10%	-0.50%	大網白里市	福岡県筑後市	75.60%	77.20%	-1.60%
佐倉市	神奈川県秦野市	76.00%	68.30%	7.70%	印旛郡酒々井町	群馬県吉岡町	79.10%	78.20%	0.90%
東金市	山形県天童市	78.50%	80.10%	-1.60%	印旛郡栄町	宮崎県高鍋町	79.90%	78.10%	1.80%
旭市	山梨県笛吹市	85.40%	73.70%	11.70%	香取郡神崎町	秋田県八郎潟町	76.50%	81.60%	-5.10%
習志野市	埼玉県新座市	77.50%	77.30%	0.20%	香取郡多古町	長野県松川町	74.60%	85.80%	-11.20%
柏市	大阪府枚方市	75.40%	71.90%	3.50%	香取郡東庄町	新潟県聖籠町	73.40%	82.30%	-8.90%
勝浦市	三重県鳥羽市	70.40%	73.30%	-2.90%	山武郡九十九里町	茨城県利根町	76.70%	82.60%	-5.90%
市原市	茨城県日立市	77.10%	73.00%	4.10%	山武郡芝山町	岐阜県関ヶ原町	80.80%	64.40%	16.40%
流山市	東京都立川市	79.90%	78.10%	1.80%	山武郡横芝光町	富山県入善町	76.90%	82.10%	-5.20%
八千代市	東京都日野市	75.50%	77.90%	-2.40%	長生郡一宮町	和歌山県湯浅町	73.10%	72.60%	0.50%
我孫子市	大阪府箕面市	77.50%	67.50%	10.00%	長生郡睦沢町	奈良県高取町	79.10%	70.10%	9.00%
鴨川市	青森県黒石市	70.20%	81.00%	-10.80%	長生郡長生村	埼玉県鳩山町	74.50%	80.00%	-5.50%
鎌ヶ谷市	大阪府羽曳野市	77.20%	69.70%	7.50%	長生郡白子町	神奈川県松田町	71.60%	75.20%	-3.60%
君津市	愛媛県四国中央市	72.60%	76.10%	-3.50%	長生郡長柄町	埼玉県長瀨町	74.80%	82.10%	-7.30%
富津市	兵庫県洲本市	73.20%	68.20%	5.00%	長生郡長南町	宮城県大郷町	67.20%	84.10%	-16.90%
浦安市	埼玉県新座市	71.60%	77.30%	-5.70%	夷隅郡大多喜町	静岡県南伊豆町	74.50%	79.20%	-4.70%
四街道市	愛知県日進市	79.00%	69.10%	9.90%	夷隅郡御宿町	埼玉県長瀨町	73.70%	82.10%	-8.40%
袖ヶ浦市	静岡県湖西市	73.20%	82.50%	-9.30%	安房郡鋸南町	福岡県久山町	73.80%	77.60%	-3.80%
					千葉県平均	同規模(埼玉県)平均	76.20%	76.10%	0.10%

同規模自治体と同等 (±5%以内)
 同規模自治体より+5%~10%未満大きい
 同規模自治体より10%以上大きい
 同規模自治体より-5%~10%未満小さい
 同規模自治体より10%以上小さい

黄色
 オレンジ
 赤
 黄緑
 緑

<後期>

	後発医薬品数量割合(%)
千葉県後期高齢者	73.4%
埼玉県後期高齢者	74.1%

※人口、人口密度はH27国勢調査数値を基に「人口」「人口密度」が近い自治体を選択
 ※入院+外来+調剤+歯科

第7章 特定健診未受診かつ医療機関受診有の 対象者の状況

第8章 市町村の健康課題等に応じた対象者の 抽出及び現状把握の手法の検討・提示

8-1. 「急性上気道感染症」による抗生物質の処方事例の対象者抽出

- 1 診療区分：外来（院内処方含む）
- 2 診療期間：2019年1月（2018年度において主傷病が急性上気道炎の患者数最多月）
- 3 対象医薬品：薬効分類で「6 1 抗生物質製剤」及び「6 2 化学療法剤」のうち、「611～615,619,621の一部（62120）、624・629の一部（62901）」の薬剤
- 4 その他の条件：次の検査後に対象医薬品の処方された場合、対象者から除いた。
 - ① 溶連菌検査：診療報酬点数表の区分番号D012 感染症免疫学的検査の以下のいずれかを含む
抗ストレプトリジンO（ASO）定性、半定量、定量
抗ストレプトキナーゼ（ASK）定性、半定量
A群β溶連菌迅速試験定性
 - ② 細菌検査：D012、D017～023の中のいずれか（複数も含む）

8-1. 「急性上気道感染症」による抗生物質の処方事例の対象者抽出（国保）

2次医療圏

2次医療圏	国保		
	急性上気道炎と診断された外来患者数 (主傷病が急性上気道炎のみ) (人)	抗生物質を処方され、溶連菌検査を 実施しなかった患者数 (人)	抗生物質を処方され、細菌検査を 一切実施しなかった患者数 (人)
千葉医療圏	1,286	507	324
東葛南部医療圏	2,418	966	578
東葛北部医療圏	1,994	801	505
印旛医療圏	1,157	437	273
香取海匝医療圏	465	135	78
山武長生夷隅医療圏	718	208	125
安房医療圏	205	54	38
君津医療圏	377	152	80
市原医療圏	332	116	68
合計	8,952	3,376	2,069

市町村

市町村	急性上気道炎と診断された外来患者数 (主傷病が急性上気道炎のみ) (人)			市町村	急性上気道炎と診断された外来患者数 (主傷病が急性上気道炎のみ) (人)		
	抗生物質を処方され、溶連菌検査を 実施しなかった患者数(人)	抗生物質を処方され、細菌検査を 一切実施しなかった患者数 (人)	抗生物質を処方され、溶連菌検査を 実施しなかった患者数(人)		抗生物質を処方され、細菌検査を 一切実施しなかった患者数 (人)		
千葉市	1,286	507	324	八街市	177	109	65
銚子市	102	17	12	印西市	109	38	23
市川市	715	345	212	白井市	62	25	24
船橋市	855	306	173	富里市	79	21	10
館山市	55	11	9	南房総市	73	22	19
木更津市	182	61	33	匝瑳市	75	18	10
松戸市	723	262	168	香取市	90	35	16
野田市	239	78	46	山武市	114	29	17
茂原市	119	39	23	いすみ市	72	15	9
成田市	198	70	47	大網白里市	79	29	16
佐倉市	243	91	61	印旛郡酒々井町	29	21	12
東金市	90	32	20	印旛郡栄町	29	5	3
旭市	135	38	24	香取郡神崎町	9	5	2
習志野市	213	56	28	香取郡多古町	34	14	10
柏市	605	306	204	香取郡東庄町	20	8	4
勝浦市	17	5	4	山武郡九十九里町	27	7	5
市原市	332	116	68	山武郡芝山町	9	3	2
流山市	222	72	44	山武郡横芝光町	75	8	5
八千代市	240	110	70	長生郡一宮町	23	10	4
我孫子市	205	83	43	長生郡睦沢町	10	4	3
鴨川市	64	18	9	長生郡長生村	23	7	2
鎌ヶ谷市	190	56	38	長生郡白子町	24	7	5
君津市	67	31	19	長生郡長柄町	10	5	4
富津市	25	8	2	長生郡長南町	7	3	1
浦安市	205	93	57	夷隅郡大多喜町	11	3	3
四街道市	231	57	28	夷隅郡御宿町	8	2	2
袖ヶ浦市	103	52	26	安房郡鋸南町	13	3	1
合計	8,952	3,376	2,069	合計	8,952	3,376	2,069

8-1. 「急性上気道感染症」による抗生物質の処方事例の対象者抽出（後期）

2次医療圏

2次医療圏	後期		
	急性上気道炎と診断された外来患者数 (主傷病が急性上気道炎のみ) (人)	抗生剤を処方され、溶連菌検査を 実施しなかった患者数 (人)	抗生剤を処方され、細菌検査を 一切実施しなかった患者数 (人)
千葉医療圏	238	101	69
東葛南部医療圏	401	150	99
東葛北部医療圏	380	147	99
印旛医療圏	147	55	37
香取海匠医療圏	66	30	22
山武長生夷隅医療圏	105	40	25
安房医療圏	43	17	10
君津医療圏	71	19	10
市原医療圏	47	13	7
合計	1,498	572	378

市町村

市町村	急性上気道炎と診断された外来患者数 (主傷病が急性上気道炎のみ) (人)	抗生剤を処方され、溶連菌検査を 実施しなかった患者数(人)	抗生剤を処方され、細菌検査を 一切実施しなかった患者数 (人)	市町村	急性上気道炎と診断された外来患者数 (主傷病が急性上気道炎のみ) (人)	抗生剤を処方され、溶連菌検査を 実施しなかった患者数(人)	抗生剤を処方され、細菌検査を 一切実施しなかった患者数 (人)
銚子市	13	6	6	印西市	14	3	1
市川市	110	48	31	白井市	11	3	2
船橋市	148	46	29	富里市	13	4	2
館山市	8	2	2	南房総市	16	9	6
木更津市	37	10	6	匝瑳市	17	6	4
松戸市	117	46	32	香取市	18	9	6
野田市	53	18	14	山武市	14	4	2
茂原市	23	13	9	いすみ市	16	4	1
成田市	23	8	7	大網白里市	7	1	1
佐倉市	33	16	11	印旛郡酒々井町	8	5	3
東金市	17	4	3	印旛郡栄町	2	0	0
旭市	11	5	3	香取郡神崎町	2	1	1
習志野市	48	16	8	香取郡多古町	1	1	1
柏市	119	49	28	香取郡東庄町	4	2	2
勝浦市	2	1	1	山武郡九十九里町	1	0	0
市原市	47	13	7	山武郡芝山町	1	0	0
流山市	52	13	11	山武郡横芝光町	12	5	2
八千代市	45	20	16	長生郡一宮町	0	0	0
我孫子市	39	21	14	長生郡睦沢町	1	1	1
鴨川市	16	4	1	長生郡長生村	2	1	1
鎌ヶ谷市	29	14	11	長生郡白子町	1	1	1
君津市	11	2	1	長生郡長柄町	1	1	1
富津市	14	5	1	長生郡長南町	0	0	0
浦安市	21	6	4	夷隅郡大多喜町	4	3	2
四街道市	35	14	10	夷隅郡御宿町	3	1	0
袖ヶ浦市	9	2	2	安房郡鋸南町	3	2	1
合計	1,498	572	378	合計	1,498	572	378

8-1. 「急性上気道感染症」による抗生物質の処方事例の対象者抽出 国保/後期

- 2019年1月における、主傷病が急性上気道感染症患者（J06）の 主傷病以外の疾病中分類レセプト件数ランキング対象者に紐づく他の疾病レセプト件数（ICD10中分類）

「注記：これら主傷病ではない疾患は急性、慢性とも当該月又は過去に発症している。

また、慢性疾患は当該月においても罹患している可能性が高い。」

- 溶連菌検査を一切実施しなかった患者の疾病中分類レセプト件数ランキングを見ると、国保は「血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎」「急性気管支炎」「慢性副鼻腔炎」がランキングの上位を占めており、後期では「胃炎及び十二指腸炎」も上位に含まれる。
- 細菌検査を実施しなかった患者の疾病中分類レセプト件数ランキングを見ると、国保・後期ともに「血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎」「急性気管支炎」「慢性副鼻腔炎」がランキングの上位を占めている。

	国保		後期	
	溶連菌検査を実施しなかった患者のJ06以外の中分類	細菌検査を一切実施しなかった患者のJ06以外の中分類	溶連菌検査を実施しなかった患者のJ06以外の中分類	細菌検査を一切実施しなかった患者のJ06以外の中分類
1	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎 827	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎 582	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎 122	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎 91
2	急性気管支炎 696	急性気管支炎 404	急性気管支炎 112	急性気管支炎 71
3	慢性副鼻腔炎 327	慢性副鼻腔炎 247	胃炎及び十二指腸炎 60	慢性副鼻腔炎 42
4	胃炎及び十二指腸炎 267	喘息 183	慢性副鼻腔炎 47	胃炎及び十二指腸炎 38
5	喘息 252	急性鼻咽頭炎 [かぜ] 162	その他の腸の機能障害 38	喘息 29
6	急性鼻咽頭炎 [かぜ] 234	胃炎及び十二指腸炎 151	喘息 38	急性鼻咽頭炎 [かぜ] 28
7	気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの 208	気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの 132	本態性（原発性）高血圧（症） 37	気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの 22
8	急性扁桃炎 197	急性扁桃炎 125	急性鼻咽頭炎 [かぜ] 36	その他の腸の機能障害 20
9	その他の胃腸炎及び大腸炎，感染症及び詳細不明の原因によるもの 152	その他の胃腸炎及び大腸炎，感染症及び詳細不明の原因によるもの 78	気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの 33	本態性（原発性）高血圧（症） 20
10	その他の皮膚炎 93	その他の皮膚炎 68	背部痛 29	背部痛 15

8-2. 重複投薬者の対象拡大（国保）

- 1 診療区分：外来（薬局調剤分のみ）
- 2 診療期間：2018年10月
- 3 対象医薬品：アセトアミノフェン、ロキソプロフェンNa、ジクロフェナクNa、イブプロフェン、アスピリン（全て薬価コード上3桁114に限る）
- 4 その他の条件：2ヶ所以上の薬局から2成分以上の対象医薬品を投薬された患者。
ただし、15歳未満に対しては原則アセトアミノフェンが推奨されるため、15歳未満を除いている。

「注記：本集計結果から通知又は指導対象者を選定する際は、解熱鎮痛消炎剤を適切に処方されている患者を除いたり、処方日数を考慮する必要がある。同一月に2以上の薬局から投薬を受けていることから、かかりつけ薬局、お薬手帳の推奨が求められるため、医師又は薬剤師等と協議する必要がある。」